

lftpをWindows 10で使う

rsync が Windows 10 で無事動いたので、気を良くして lftp もチャレンジしてみた。

ロリポップはライトプランで契約しているのでSSHが使えない。だがSFTPは可能なので、Lftpを使ってSFTPでmirrorさせてみたい。

lftp

<http://lftp.yar.ru/>

参考サイト

lftp FTPサーバに接続してファイルを転送する

lftpで行う手軽なバックアップ

lftp + sftp(ssh) でファイルの同期をとる

CLIマジック lftpで行う手軽なバックアップ

lftp for Windowsのダウンロード

lftpはWindowsをサポートしていないがcygwinのDLLを使ったWindows版がある。

LFTP for Windows

<https://nwgat.ninja/lftp-for-windows/>

chocolateyでも同じものが見つかる（現時点で4.8.0）。

<https://chocolatey.org/packages/lftp>

chocolatey用のインストールパッケージはこちら。

32bit - <https://f001.backblazeb2.com/file/nwgat-cdn/lftp/win32/lftp-4.8.0.win32-openssl.zip>

64bit - <https://f001.backblazeb2.com/file/nwgat-cdn/lftp/win64/lftp-4.8.0.win64-openssl.zip>

rsyncをWindow 10で使う」でcygwinの32bit版DLLを%PATH%にインストールした。そこにlftpの64bit版をインストールするとcygwinの64bit版DLLとのコンフリクトが起きてしまう。だからlftpも32bit版をインストールするchocoを使う場合には、

```
choco install --x86 lftp
```

自分でインストールする場合には、上記の32bit版ZIPファイルをダウンロードして解凍する。

```
2019/07/17 00:00 <DIR> bin
2019/07/17 00:00 <DIR> etc
2017/07/15 03:42 35,819 GPL.txt
2017/07/15 03:42 122 nwgat.ninja.url
```

binフォルダの中身は

```
2017/07/15 03:42 795,677 bash.exe
2017/07/15 03:42 12,829 cygcom_err-2.dll
2017/07/15 03:42 2,058,269 cygcrypto-1.0.0.dll
2017/07/15 03:42 110,109 cyggcc_s-1.dll
```

2017/07/15	03:42	285,213	cyggssapi_krb5-2.dll
2017/07/15	03:42	1,034,269	cygiconv-2.dll
2017/07/15	03:42	42,525	cygintl-8.dll
2017/07/15	03:42	193,565	cygk5crypto-3.dll
2017/07/15	03:42	762,397	cygkrb5-3.dll
2017/07/15	03:42	39,965	cygkrb5support-0.dll
2017/07/15	03:42	313,373	cygncursesw-10.dll
2017/07/15	03:42	227,357	cygreadline7.dll
2017/07/15	03:42	432,669	cygssl-1.0.0.dll
2017/07/15	03:42	12,829	cygssp-0.dll
2017/07/15	03:42	1,473,053	cygstdc++-6.dll
2017/07/15	03:42	3,454,230	cygwin1.dll
2017/07/15	03:42	84,519	cygz.dll
2017/07/15	03:42	1,357,312	lftp.exe
2015/06/23	14:51	676,903	sh.exe
2017/07/15	03:42	727,581	ssh.exe
	20個のファイル	14,094,644	バイト

binフォルダの内容をPATHの通ったフォルダにコピーしておく。

.sshフォルダの準備

[.sshフォルダの準備](#)を参照。

鍵の生成と転送

[鍵の生成と転送](#)

lftpの実行とエラーへの対処

```
lftp ftp.server.name
```

.sshフォルダが正しくセットアップされていて、公開鍵がサーバーに転送されていれば、これでログインできる。

・・・が、lsコマンドを実行してみたら、エラーになってしまった。

```
ls: Login failed: 530 user id not found
`ls' at 0 [530 Login incorrect.]
```

やっぱり、ユーザー名とパスワードでログインしなければならないのか・・・（涙）。こんな感じだ。

```
lftp -u username,password ftp.server.name
```

だが、この後も難所続きだった。

再びlsを実行すると。

``ls' at 0 [Making data connection...]`

というエラーが発生。

LFTP stuck making Data Connection

によると、これはlftpはSSLあり・なし両方に対応しているが、最初はSSLありで接続を試みる。なのにFTPサーバーがSSLをサポートしていないこうになってしまう。対策としては `set ftp:ssl-allow off;` の指定を行う。

```
lftp -e "set ftp:ssl-allow off;" -u username,password ftp.server.name
```

さらに `ls` を実行して、

ls: Fatal error: Certificate verification: unable to get local issuer certificate (XX:XX...

というエラーが発生。

lftp to webin freezes at `ls' at 0 [Logging in...] #1

こちらによればSSLで接続している時に、証明書のサイト名とアドレスが合わないなどの場合にこのエラーになる。対策としては、 `set ftp:ssl-allow off;` の指定を行う。

```
lftp -e "set ftp:ssl-allow off;" -u username,password ftp.server.name
```

フォルダの同期やバックアップ

フォルダの同期やバックアップに使うのは `mirror` コマンドだ。

```
mirror [OPTS] [source [target]]
```

デフォルトでは `source` がリモートで、`target` がローカル（ダウンロード）。

`-R` を指定した場合は、`source` がローカルで、`target` がリモートになる（アップロード）。

```
mirror --delete --only-newer --verbose コピー元 コピー先
```

オプション

省略表記	フル表記	意味
<code>-e</code>	<code>-delete</code>	リモートに存在しないファイルを削除する
<code>-n</code>	<code>-only-newer</code>	新しいファイルのみダウンロードする
<code>-v</code>	<code>-verbose[=level]</code>	冗長な出力を行う
<code>-x RX</code>	<code>-exclude RX</code>	操作対象外のファイルを正規表現で指定する
<code>-X GP</code>	<code>-exclude-glob GP</code>	操作対象外のファイルをグロブパターン（ <code>*.html</code> など）で指定する
<code>-R</code>	<code>-reverse</code>	逆の同期（ファイルをアップロードする）
<code>-P</code>	<code>-parallel[=N]</code>	N 個のファイルを並行してダウンロードする
	<code>-script=FILE</code>	実行されるコマンドを FILE に書き込むが、実際には実行しない
	<code>-just-print, -dry-run</code>	<code>-script=-</code> と同じ

Lftp Mirror Command Exclude Matching Files [Regex]

実行例

```
lftp -e "set ftp:ssl-allow off; mirror -env -x data/cache /wiki  
/cygdrive/d/xampp/htdocs/wiki" -u lolipop.username,password  
ftp.server.lolipop.jp
```

ロリポップのFTPサーバ(SFTPではない)に接続し、リモートの/wikiフォルダを、ローカルのD:\xampp\htdocs\wikiフォルダにコピーするが、キャッシュフォルダ\data/cacheは除外する。また、リモートにないファイルはローカルから削除し(-e新しいファイルだけダウンロードする-n)



ローカルフォルダについてはC:\folderではなく、/cygdrive/c/folderというcygwinスタイルのフォルダ指定を行う必要がある。

From:

<https://ragi.mokuren.ne.jp/> - らぎめも

Permanent link:

<https://ragi.mokuren.ne.jp/windows/lftp?rev=1563380563>

Last update: **2019/07/18**

